

■ 預言者は自分の故郷では尊ばれない

過ぎ越しの祭りの間、イエス様は、エルサレムで奇跡やしるしを行いました。そして、そこにいた多くのユダヤ人はイエス様を信じました。しかし、彼らの信仰は、正しいものではありませんでした。彼らはイエス様の行う奇跡を求めていたのです。

一方、サマリアでは、イエス様は奇跡を行うことはありませんでした。けれど、サマリア人はイエス様を世の救い主だと信じました。サマリア人は目に見える奇跡やしるしではなく、自分で聞いたイエス様のことばによって信じたのです。

■ メッセージのポイント

ある王室の役人がイエス様のところにやって来ました。その理由は、死にかかっている息子の為です。彼は、イエス様に息子を癒してもらいたいと思いました。しかし、イエス様は彼の信仰が正しくないことを教え、彼を信仰のステップアップへ導きました。

(1) ステップ1：彼はその奇跡を見たので、イエス様を信じました。

彼にとって奇跡は、信仰に欠かせないものです。イエス様よりその奇跡を求めていました。

(2) ステップ2：彼はイエス様のことばを信じて、帰りました。

すぐに確かめられるしるしはありませんが、イエス様とそのことばを信頼しました。

(3) ステップ3：彼はイエス様のことばが、いつどのように答えられたかを確認しました。

このような過程を通して、神様の真実さと恵みを知り、更に深い信仰へと導かれました。